

けやき

平成 27 年度

6 月 号

No. 4 5 2

練馬区立南が丘小学校

校長 上野 和彦

運動会での感動をこれからの教育活動の糧に

校長 上野 和彦



先日の「仲間を信じ 最後まであきらめずに 勝利の道を走りきろう！」をめあてにした運動会には、50名近くのご来賓及び地域・関係諸機関の方々、650名ほどの保護者（お祖父様、お祖母様などを含めて）、卒業生、旧職員の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。天候に恵まれ、子どもたちも皆様の声援に後押しされ、十分に力を発揮することができました。ご来校いただいた南田中町会長の榎本高一様には、地域代表の方として開会式でご挨拶をいただき、

子どもたちに励ましの言葉を賜り、スムーズに運動会を始めることができました。また、受付や接待などでは、「育てる会」の皆様にお手伝いをしていただきました。「おやじの会」の皆様には、当日の会場のパトロール、駐輪の誘導・整理、運動会終了後の片付けなどをしていただきました。運動会の準備・実施において、多くの方々にご協力・ご支援いただきましたことに心より御礼申し上げます。

さて、今年も運動会に向けて、3・4年生はソーラン節において、5・6年生は組体操において、南が丘中学校の授業見学を行い、中学生から直接、演技のポイントやコツを教えてくださいました。小中一貫教育も三年目となり、中学生と小学生のコミュニケーションもスムーズにでき、積極的に教えてもらおうとする姿が見られました。担任の話によりますと、中学校の授業見学後の練習では、意気込みに拍車がかかり、技や演技へのさらなる挑戦が始まったようです。このように、中学校と小学校が協働した運動会であったと言えるのではないのでしょうか。



そして、1年生から6年生まで、自分の学年の演技や競技、応援団や代表委員会・係活動を通して、子どもたちは、やる気、元気、協力、創造、責任の大切さを学んだと思います。自分の力を十分に発揮し、自分の責任・役割を果たすとともに、他学年や同学年の仲間と協働して、一つのものを創り上げていく喜びと大切さを感得したことと思います。まさに、「自立・協働・創造」の運動会であったのではないのでしょうか。

今後の教育活動においても、「自立・協働・創造」をキーワードに運動会での成果を生かして、今後の教育活動に取り組んでいきたいと思っています。今後ともご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

算数科の授業研究

来る6月25日(木)に2年生において、校内研究「思考力・表現力を高める理数教育の充実」を研究主題に算数科の授業研究を行います。ご都合をつけて、ご参観いただければ幸いです。

時刻：13：30 授業開始
場所：2年生各教室

夏季用校帽のお知らせ

夏用の校帽の着用期間に入りましたので、お知らせいたします。(9月30日まで)